

＜別紙2 障害者グループホーム版＞

第三者評価結果

I 福祉サービスの基本方針と組織（共通評価Ⅰ－１～４）

	取組の状況（努力・工夫していること、課題と考えている事）
1	（Ⅰ-1 理念・基本方針） 法人の理念・基本方針等を事業計画に盛り込み、利用者の基本的人権の尊重と権利擁護を最優先に考え、利用者主体の福祉支援サービスを目指しています。職員は入職時の研修、法人パンフレットや職員ハンドブック等を通じて理念・方針等を学んでいますが、さらに職員会議やOJT等を通じて理解を深めるよう努めています。職員の人間尊重主義の意識を向上させながら、さらに質の高い福祉支援サービスを実践していくことが課題です。
2	（Ⅰ-2 経営状況の把握） 毎月実施している職員会議で、事業所の収支状況、予算の執行状況などについて説明し、月次毎の経営状況について職員間で情報共有しています。隣接する日中サービス支援型のグループホームと協力しながら、人員体制については相互支援体制で運営し、業務の効率化を図っています。長期的な視野に立った収支のバランスを図り、適切な事業所運営を目指しています。
3	（Ⅰ-3 事業計画の策定） 事業計画は、法人の理念・基本方針、使命、職員行動指針を踏まえながら、目標と重点課題を策定しています。次年度の計画策定期間に職員全体で計画を練り上げる機会は設けていませんが、現場の職員から意見や提案を集めて事業計画に反映するよう努めています。今年度の重点課題としてはコロナ禍で外出が制限されていることから、隣接しているグループホームと人員面で協力を得ながら、季節行事や事業所内で行うレクリエーション活動を増やし、利用者間の親睦を図っていくことを掲げています。
4	（Ⅰ-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組） 利用者主体の福祉サービスの支援に組織的に取り組み、利用者の権利擁護を意識しながら福祉サービスの質の向上を目指しています。日常の支援活動の中で利用者の声を聞き、不安解消に努めています。職員会議の場において個々の利用者の支援を振り返り、話し合う機会を設けて、適切な支援になっているかチェックしたり、ヒヤリハットの事例を通して事故につながらないようにリスクの軽減に取り組んでいます。研修など学びの機会を持てるよう勤務体制を工夫して支援スキルアップに努めています。

II 組織の運営管理（共通評価Ⅱ－１～４）

	取組の状況（努力・工夫していること、課題と考えている事）
5	（Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ） 前年度11月の管理者交代後、職員間のコミュニケーションを充実させるため、職員会議やミーティングの取組について呼びかけを工夫して参加率を高めるよう努めています。管理者は隣接する指定共同生活援助事業所の所長を兼務しており、シフトなどの人員体制について一体運営を図っており、効率的な事業所運営に取り組んでいます。感染症対策では、法人の危機管理室と連携し、感染が広がらないよう対処しています。
6	（Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成） 非常勤職員の採用について法人とも連携しながらインターネット媒体を利用し、事業所の職員の仕事を紹介しながら人員の確保に努めています。採用に際しては、採用実習を5日間実施し、適性を見極めて採用しています。現場に配属された際には2回以上常勤職員あるいは経験豊富な非常勤職員によるOJTを実施し、利用者の障がい特性を踏まえた、利用者一人

	ひとりへの接し方や留意点などを伝えて職場に配属しています。
7	（Ⅱ-3 運営の透明性の確保） 地域に向けた事業所のパンフレットは特に作成していませんが、法人が作成しているホームページなどで事業所の紹介や支援活動内容を紹介しています。事業所における第三者評価の受審、苦情・相談の体制について公表しています。利用者からの要望や意見などを直接聞くために利用者ミーティングを行ってきましたが、現在はコロナ禍で中断しています。昨年秋に管理者が交代し、事業所の運営について見直しを図っており、事業所内に意見箱の設置などを検討しています。
8	（Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献） 現在、コロナ禍の影響で利用者と地域との交流を広げるための働きかけは出来ていません。自治会に加入していますが、やはりコロナ禍で実質的な活動は行っていません。隣接している大家の方へは利用者也挨拶をするなど日常的な交流があります。地域の防災対策や被災時における福祉的な支援や住民の安全・安心のための備えとしての取組は行っていませんが、事業所に設置したAEDについて地域への周知を検討しています。地域での生活の中で様々な機会を捉えて地域社会との交流の取組をしていくことが望まれます。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス（共通評価Ⅲ-1-（1）～（5））

	取組の状況（努力・工夫していること、課題と考えている事）
9	（Ⅲ-1-（1）利用者を尊重する姿勢の明示） 法人の理念・基本方針や事業計画において人間尊重主義を重視することを明確にしています。利用者を尊重した福祉サービス提供に努めており、利用者の自己決定権を大切にしています。現在はコロナ禍で中断していますが、利用者ミーティングを定期的に開催して利用者の自主性を支援し、地域の中で豊かで自立した生活が送れるよう取り組んでいます。個別支援計画策定会議や職員会議等で個々の利用者の障がい特性などの把握に努めていますが、さらに利用者本位の福祉サービスの質の向上を目指すことが期待されます。
10	（Ⅲ-1-（2）福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）） 入居時には共同生活援助重要事項説明書やグループホームサービス利用契約書の内容について口頭で丁寧に説明を行っています。食材料費の改定を行う場合も事前に利用者によりわかりやすく説明し、同意を得ています。入居希望者には入居に必要なものや費用面も含めて具体的に提示し、事業所内での生活が円滑に移行できるよう努めています。また、1～5日間の体験入居サービスも提供しています。他の施設へ移行する場合は福祉サービスの継続性が維持されるように引き継ぎ文書を作成して移行先へ伝えています。
11	（Ⅲ-1-（3）利用者満足度の向上） 利用者会議をフロアごとに定期的に行い、ホームでの生活や福祉サービス内容について話を聞いて利用者満足度を把握し、改善に努めています。現在、利用者会議はコロナ禍で中断していますが、感染対策を講じた上での再開の検討が期待されます。利用者満足度調査のアンケートを実施することも検討しています。項目には気になること、不安や不快に感じたことや職員に対する印象なども取り入れることとしています。
12	（Ⅲ-1-（4）利用者が意見等を述べやすい体制の確保） 法人の「苦情解決に関する規則」等に基づき、苦情解決の体制を構築しています。第三者委員を設置しており、事業所内には苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した苦情受付ポスターが掲示され、周知しています。利用者が相談や意見を述べやすいスペースの確保に配慮しています。現在、意見ボックスの設置はしていないので、意見を自由に述べられるよう設置を検討しています。

13	(Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組) 事業所ではリスクマネジメント委員会を設置していますが、リスクマネジャーは配置していません。職員に対して安全確保・事故防止に関する研修を実施しています。感染症については予防と発生時等のマニュアルを作成し、職員に周知しています。コロナ対策では利用者の外出や帰宅などを制限し、手指の消毒、マスク着用、共有スペースでの仕切り板の設置などの対策を徹底しています。感染症発生時対応については法人危機管理室の指示の下、取り組む体制となっています。
----	--

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保（共通評価Ⅲ-2-(1)～(3)）

	取組の状況（努力・工夫していること、課題と考えている事）
14	(Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法の確立) 標準的な福祉サービス実施方法について文書化されています。業務の平準化に取り組むことによって、すべての職員が効率よく安全に、間違いなく支援サービスが行えるよう、サービス内容を時系列にまとめたわかりやすい手順書を作成しています。作成された手順書にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みを構築していくことが望まれます。
15	(Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントによる福祉サービス実施計画の策定) 個別支援計画アセスメント表や個別支援計画書については統一したフォーマットが法人で作成されており、システム入力しています。担当者がアセスメント表を踏まえながら、個別支援計画の原案を作成し、個別支援計画策定会議で議論しながら決定しています。個別支援計画どおりに福祉サービスが行われていることを確認する仕組みを充実させていくことが望まれます。
16	(Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の適切な記録) 利用者の生活状況や支援サービス内容等についてはパソコンに入力して記録管理し、職員間で情報共有できる体制となっています。記録は月単位で紙に打ち出しファイル管理して書類でも備えています。記録要領は丁寧な言葉遣いで、時系列に具体的な状況が浮かぶようにシステムに入力するよう指導しています。利用者に関する記録の管理については個人情報保護規程や文書管理規程に基づき行われています。文書保存年限は5年と定めており廃棄はリストを作成の上シュレッターで実施しています。

A-1 利用者の尊重と権利擁護（内容評価A-1-(1)、(2)）

	取組の状況（努力・工夫していること、課題と考えている事）
17	(A-1-(1) 自己決定の尊重) 障がい支援区分2～4の方が入居されています。身の回りのことはある程度自立できている利用者が多く、自由度の高いグループホームです。金銭を自己管理している利用者も多く、買い物やインターネットを利用した宅配、出前の食事を注文して取るなど自由に行っています。通所先を自分で選んで決めている利用者もいます。1人で行うことが難しい利用者には職員が支援していますが、殆どの利用者は生活全般において自己決定しています。
18	(A-2-(2) 権利侵害の防止等) 法人虐待防止委員会が作成した虐待防止マニュアルがあります。「職員倫理行動綱領」や「職員倫理行動マニュアル」には利用者の人権を尊重した支援について明記され、職員は読み合わせを行っています。利用者の居室には、不在時には入らず、安否確認が必要な際は職員2人で立ち会って、ドアを開けるようにしています。職員の不適切な行為が無いように、職員の人権意識の向上と虐待防止に向けて徹底した取り組みを行っています。

A-2 生活支援（内容評価A-2-（1）～（8））

	取組の状況（努力・工夫していること、課題と考えている事）
19	（A-2-(1) 支援の基本） 「出来ることは自分で行う」という基本方針のもとに、利用者が自分のペースで生活することを尊重しています。居室の管理や洗濯、掃除、入浴、買い物など自立して行っています。休日には散歩したりスーパーマーケット等へ買い物に出かけ、出前で食事を注文するなど自立した生活をしています。1階の利用者は、利用者ミーティングで、ごみ捨て、ふきん洗い、テーブル拭きなどの当番を決め、壁のカレンダーに担当日を記入して自分たちで主体的に行っています。
20	（A-2-(2) 日常的な生活支援） 必要に応じて、服薬管理、金銭管理、清掃など一部の日常生活支援を実施しています。食事は委託業者から配達された食材を使用して職員が作っています。食事時間は感染症対策として、2交代制にしています。朝食は出勤時間に応じて提供しています。また、食事を遅く食べたいときは置き置きにも対応し、自分で電子レンジで温め直して食べることも可能です。金銭管理の必要な利用者には出納帳に記入し、レシートを添付しています。入浴介助やトイレ介助の必要な利用者はいません。
21	（A-2-(3) 生活環境） 掃除は職員と利用者で行い、共有部分は職員が行っています。居室には職員はあまり立ち入らずに、利用者が住みやすいように使っていますが、自分で掃除をすることが難しい利用者には必要に応じて支援しています。リビングや廊下にはサーキュレーターを設置して換気を心掛けています。喫煙する利用者が数名いるため、リビングの外のベランダで喫煙可能とし、灰皿の掃除、吸い殻の片づけは利用者が行っています。職員確認も行われていますが、さらに十分な注意が望まれます。
22	（A-2-(4) 機能訓練・生活訓練） 毎月、隣接している同一法人のグループホームの庭で、合同のトランスフィットネスを実施し、身体を動かす機会を作っています。散歩に出かけている利用者もいます。機能訓練や生活訓練を目的とした取組は行っていません。
23	（A-2-(5) 健康管理・医療的な支援） 隣接している同一法人のグループホームに在籍している看護師が定期的に巡回訪問し、体調面の確認やメンタル面の相談などを実施しています。利用者全員が通院治療を行っています。一人で通院が難しい利用者には、職員が同行し、主治医の話や指示などを聞いて、業務日誌や個別記録に内容を記載し、職員間で共有しています。12人の利用者中、7人に服薬支援を行っています。薬ポケットカレンダーに1週間分をセットし、服用時に名前、日付など利用者と一緒に確認して誤薬防止に努めています。
24	（A-2-(6) 社会参加、学習支援） 利用者が通所している施設と情報を共有して、整合性のある支援をしています。また、日常的な連絡調整や面談などを行うことで、通所施設に安定して通えるように支援しています。市の広報などで社会参加に関する情報提供を行っています。利用者は友人と外食や外泊をすることもあります。学習体験の機会は提供できていません。
25	（A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援） 今年9月に利用者が自立した生活をしたいとサテライト型グループホームに入居し、1人での生活を始めました。引越しの際は、相談支援事業所や市のソーシャルワーカーなどと連携を取りながら、利用者の希望が叶うように支援を行っています。

26	(A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援) 親が高齢のため、疎遠となっている家族が多い状況です。日常的に連絡を取り合うことは少なく、利用者の体調不良時、大きな変化時などに家族と連絡を取っています。現在は法人の家族会も中止になっています。後見人とは定期的に個別面談を実施し、ホームの様子や金銭管理について伝えています。
----	--